

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	子育て支援	コード	作成者	役職	子ども課長
		02-01-01		氏名	横山雅一
			電話	0869-64-1825	
			このシート作成に要した時間	4.0 時間	

この施策の アピール ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを健やかに生み育てる環境づくりに取り組んでいます。 幼保一体型施設整備を計画的に進め、就学前の子どもに共通した幼児教育、保育の機会を提供できるよう取り組んでいます。
-----------------------	--

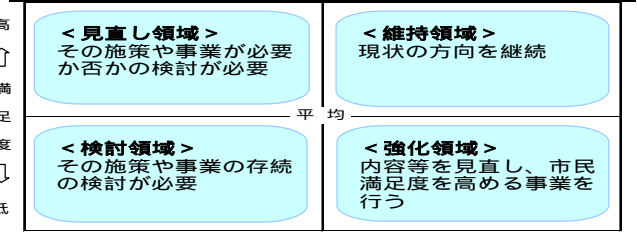
この施策の 平成24年度の 施政方針	<p>次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境づくりのための子育て支援策を「備前市次世代育成支援行動計画」に沿って推進しているところであります。地域の子育て支援については、仕事と家庭生活が円滑に送れるよう、引続き「ファミリー・サポート・センター事業」を実施してまいります。また、子育て関係団体等のネットワークづくり・保育サービスの充実に向けた取り組みや「地域子育て支援拠点事業」の充実に努めるとともに、ひろば型拠点事業の実施箇所数の増加に向けて検討してまいります。</p> <p>幼稚園と保育園との連携については、人事交流だけでなく、子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、就学に向けて、小学校との積極的な連携を図るようにしてまいります。また、幼保一体化については、伊里地区幼保一体型施設(伊里認定こども園)の検証を図りながら、片上地区の整備に取り組んでまいりたいと考えております。また、少子化に伴う種々の子育て支援について、こうした事業と並行して充実を図ってまいります。</p>
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

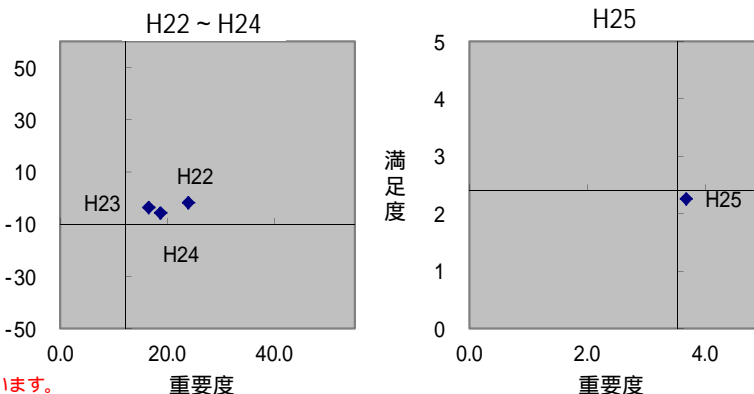
政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	次代を担う子どもが心身ともに健やかに成長するように。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化の進展や地域社会の希薄化など、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、子ども同士の交流や地域での大人との交流の機会が減少し、子どもの自主性や社会性が育まれなくなるなど、子どもの健やかな成長へ及ぼす地域社会の教育力や家庭の子育て力の低下が懸念されている。このようなことから、保育サービス、相談体制、地域での子育て支援の充実を図り、子育てに対して夢を持ち、子育てを楽しみと感じることのできる環境づくりを家庭、地域、行政などが連携していくことが重要な課題となっている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 特別保育事業などの充実 地域における児童の健全育成 放課後児童クラブの充実 子育て支援に関するネットワークづくりの推進 市民との連携や協働による次世代育成支援事業の推進 情報の提供 医療費助成制度の充実 保育園の運営の適正化 児童虐待の未然防止など/相談体制の充実 ふれあいの拠点づくり 私立保育園の健全運営への助成 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	23.9	16.5	18.7	3.7
満足度(%)	-1.7	-3.6	-5.6	2.3



横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査結果から評価すると、H22～H24結果は「現状の方向を継続」になっている。ただし、これからは子育て支援に携わる行政が連携し、補完しあい時代の多様なニーズに対応していく事が求められると推測される。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 安心して子どもを生み育てることができると感じている割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	市民意識調査結果による数値	H25	40.0
	実績	%	20.2	16.2	33.4		H28	50.0
	達成率	%	101.0	81.0	167.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 特別保育利用人数	目標	人	4,000	4,000	4,000	一時保育延人数(3園)1,494人 延長保育延人数(7園)2,025人	H25	4,000
	実績	人	4,057	3,131	3,519		H28	4,000
	達成率	%	101.4	78.3	88.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 放課後児童クラブ利用児童数	目標	人	190	180	200	登録人数(11箇所)	H25	220
	実績	人	174	255	224		H28	220
	達成率	%	91.6	141.7	112.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 子育て支援拠点施設数	目標	箇所	4	4	4	センター型施設 1施設 ひろば型施設 3施設	H25	4
	実績	箇所	2	2	4		H28	5
	達成率	%	50.0	50.0	100.0		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
福祉事務所 教育委員会	(連携) 幼保一体化の推進	幼保一体型施設の整備の円滑な推進を図る必要がある
実行委員会	(連携) 子育てイベント	イベント等を通じて地域で子育てを応援・支援する機運を高める
職員採用の一本化	幼稚園教諭・保育園保育士の採用試験の一本化	幼稚園と保育園の垣根の撤去を図り、共通認識のもと教育・保育行政を実施する。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	市民の子育て支援をサポートする上で、保育サービス充実等広範囲にわたる子育て支援施策(事務事業)を展開している。その施策を向上するため、左記記述の成果指標を掲げたもので内容的にはいずれも妥当であると考えられる。				
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	保護者(世帯)の子育てに関する負担軽減を中心に構成しており、施策事業としては適当と考える。また、本事業は、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長するための事業であり、事業構成は最適である。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する需要は更に高まることが予想されることから、今後も市民ニーズにあった施策を実施していくことは有効な施策である。 H24.10実施された小児医療費の無料化は、幼児を抱える保護者にとって非常にありがたい制度であり有効な施策である。 				
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援事業計画を策定いたします。この計画は、H25・H26の2か年で策定しますが、策定に当たっては地域のニーズを細かく反映させることが求められることから、本年度は備前市子ども・子育て会議を醸成させると共に、基礎資料となるニーズ調査を実施いたします。				
翌年度(H26年度)の取組目標		平成25年度に実施したニーズ調査を基に、備前市子ども・子育て会議において地域のニーズを細かく検討し、備前市子ども・子育て支援事業計画を策定する。				
二次評価者コメント		少子化が進展する中、「子どもの幸福」を主眼に施策を進めてください。また、国では、子育てを含む社会保障制度改革について議論されておりますので、その動向に注視してください。			基本施策への貢献度	5 高い
役職	保健福祉部長					
氏名	金光 亨					

